

事務事業名	ふれあいセンター施設運営負担金交付事業		
事業開始年度	平成6年度	担当部署	地域振興部 文化観光課

根拠法令	市民ふれあいセンター管理規則
実施方法	直営 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:)
	その他()

目的 (何のために)	市民への多様な情報提供及び障害者の社会参加等を通じて、市民相互の交流を促進する。 また本市の玄関口としての地理的メリットを生かして、本市の観光拠点事業としての機能を強化する。
---------------	--

対象 (誰・何を対象に)	市民、枚方市駅利用者
-----------------	------------

事業内容	市民ふれあいセンターは、枚方市の公共的用途で使用することを条件に、株式会社京阪流通システムズから無償貸与を受け平成6年(1994年)に開設した。市民課サービスセンターでは住民票等を発行しているほか、枚方市駅観光拠点(特定非営利活動法人枚方文化観光協会に委託)、美術工芸品の作品発表の場としてふれあいホールを市民に貸し出し(平成21年度実績:42件、使用料収入1,460,000円)、また障害者の就労促進を目的とした喫茶わおとFMひらかたのサテライトスタジオとして使用している。 本事業は、上記のとおり京阪流通システムズとの協力を得て無償で貸与されているが、日常清掃・衛生、施設や設備の保安・防災・保守点検、共用部分の維持管理などに関する費用を本市が負担することを取り決めている。また、光熱水費についても、使用実績から算出されたものを支払う。
------	---

事業の必要性	枚方市の情報発信拠点を枚方市の玄関口ともいえる枚方市駅改札口正面に設け、様々な市の情報をタイムリーに提供することが必要である。また障害者の就労促進の場として利用し、ふれあいホールを貸し出して市民の文化活動の発表・交流の場とし、市民に認知されることで文化情報の発信をするものである。
--------	--

コスト												
		H20年度決算			H21年度決算			H22年度当初予算				
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費			
正職員	0.1	人	836	千円	0.1	人	826	千円	0.1	人	803	千円
再任用職員		人		千円		人		千円		人		千円
非常勤職員等		人		千円		人		千円		人		千円
人件費計(A)			836	千円			826	千円			803	千円
直接経費(B)			14,313	千円			14,210	千円			14,350	千円
総事業費(A+B)			15,149	千円			15,036	千円			15,153	千円

財源内訳												
		H20年度決算			H21年度決算			H22年度当初予算				
国庫支出金				千円				千円				千円
府支出金				千円				千円				千円
受益者負担 (使用料等)				千円				千円				千円
その他				千円				千円				千円
一般財源			15,149	千円			15,036	千円			15,153	千円

平成21年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容	金 額
	当該施設の日常清掃に関する費用、施設・設備の保守点検費用	3,135 千円
	共用部分の使用、維持管理費用	7,948 千円
	光熱水費	3,127 千円

事務事業名	ふれあいセンター施設運営負担金交付事業		
事業開始年度	平成6年度	担当部署	地域振興部 文化観光課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H20年度	H21年度	H22年度(見込み)
活動実績	年間来場者数(ふれあいホール入場者数のみ)	人	21,382	24,626	25,000
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	総事業費 / 年間来場者数(上記)	円	708	611	606
成果目標 (目標とする成果)	気軽に立ち寄れる立地の良さを活用した施設として様々な情報提供を行い、枚方市の観光拠点としての利便性を向上し、利用人数の増加を図る。				
事業の自己評価	枚方市の玄関口ともいえる市駅ビル内という好立地にあるにも関わらず、枚方市の情報発信拠点として十分活用できていないとはいえず、利用者数を増加させるための工夫が必要である。障害者の就労を促進する場としての喫茶や、美術工芸品の発表の場としても活用しているが、立地からいえば来場者数をもっとあってほしいと考えている。				
今後の事業の方向性	利用増を図るため、現状は手作りの案内板を掲出しているが施設の外観やサイン関係を更新したい。また、通りがかりでも入りやすく利用しやすい施設とするため、内部の動線を見直し、レイアウトの変更(ハード面)や施設の活用方法(ソフト面)なども検討していきたい。枚方市に関するさまざまな情報提供を行って、市民が集まり、枚方市の情報発信の拠点となる施設にしていく必要がある。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)					
特記事項					

ふれあいセンター施設運営負担金交付事業 補足説明資料

1. 施設の概要

所在地：枚方市岡東町 19 番 1 号「京阪枚方ステーションモール」第 D - 3 区画

名称：枚方市駅市民サービスセンター

契約面積：630.76 m²

施設内容：

(1) 市民ふれあいセンター（所管：文化観光課）

枚方市駅観光拠点事業として特定非営利活動法人枚方文化観光協会に委託

喫茶わお（所管：障害福祉室） NPO 法人枚方市障害者事業協会が実施

サテライトスタジオ（所管：広報課） 株式会社エフエムひらかたが実施

石けん商品の展示（所管：消費生活センター、展示ケースのみ設置）

(2) 市民課サービスセンター（所管：市民課）

枚方市駅市民課サービスセンター管理規則により運営

(3) ふれあいホール（所管：生涯学習課）

サンプラザ生涯学習市民センターが管理する一室、生涯学習センター条例により運営

枚方市駅市民サービスセンター図面・写真



市民課サービスセンター入口



サテライトスタジオ



市民ふれあいセンター入口



市民ふれあいセンター



ふれあいホール

2. 枚方市駅市民サービスセンターに係る施設運営の負担額
決算額の推移

平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
14,291,582 円	13,984,535 円	14,355,076 円	14,312,686 円	14,209,844 円

水道・電気等の光熱水費を除いた負担金の内訳

費用明細	年額上限
本物件（専有部分）の使用に関連して生じる費用（A）	3,150,000 円
日常清掃・衛生に要する費用	（2,050,000 円）
施設・設備の保安・防災・保守点検に要する費用	（1,100,000 円）
共用部分の使用・維持管理に関する費用（B）	7,950,000 円
合 計（A+B）	11,100,000 円

3. 施設の入場者数 ふれあいホールの入場者数

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
入場者数	39,769 人	24,323 人	22,824 人	21,382 人	24,626 人

4. 市民ふれあいセンターの用途 （市民ふれあいセンター管理規則から）

情報提供：市内の観光資源に関する情報、文化に関する情報、その他本市の行政情報

展示・紹介：市内産業、友好都市及び市民交流都市の物産、パンフレット配布など

障害者の就労促進の場：喫茶わお（福祉ふれあいセンター）を設置

その他～FM ひらかたサテライトスタジオ、展示ケース

5. 文化観光課の所管事業～枚方市駅観光拠点事業について

市政・文化情報、観光案内業務、その他多様な情報提供。

広報スペースの管理。

市内伝統産業・観光情報及び友好都市・市民交流都市の紹介等。

枚方市駅市民サービスセンターの運営及び軽易な管理。

施設の運営・維持に必要な事項に関すること。

